

各高齢者施設・事業所の管理者 様

岩手県保健福祉部長寿社会課総括課長

クラスター発生時の応援体制の確保状況等に係る調査結果を踏まえた今後の取組等
について

各施設・事業所におかれましては、日頃から感染予防及び感染拡大防止に向けて御尽力いただいておりますことに深く敬意を表します。

さて、先般実施した標記調査につきましては、多くの施設から回答をいただき、ありがとうございました。

調査結果について別添のとおり取りまとめましたので、参考としてください。

また、本県においても高齢者施設でのクラスターが多発しており、今後は本調査結果も踏まえ、応援体制の確保に向けて取組を進めていく必要があることから、皆様方におかれましても、下記事項について、改めて検討・準備等を行っていただきますようお願いいたします。

記

1 派遣協力への検討について

今回の調査では、応援職員の派遣調整を希望する施設等が6割を超える一方、応援職員の派遣に協力できるとの回答は、条件付きも含めて3割程度に留まっており、応援体制を確保するためには、協力が可能な施設を増やしていく必要がある。

各施設とも人的余裕がない状態であることは承知しているが、可能な範囲での派遣協力について、改めて検討いただきたい。

2 業務継続計画（BCP）の作成、検証・見直しについて

今回の調査では、BCPを作成済みの施設が1/4程度に留まっているが、クラスター発生時に業務の調整等を実施し、施設内療養者の健康観察等にも対応しながら業務を継続するためには、BCPの作成・訓練を行っておくことが重要である。

特に、他法人からの応援職員の派遣は、業務の調整等を行ってもなお職員の不足が見込まれる場合を想定していることから、派遣調整を希望する施設におかれては、クラスター発生時を想定し、BCPを作成（検証・見直し）するとともに、応援職員に依頼する業務や説明すべき事項等についても検討・準備を行っていただきたい。

【次ページに参考情報の記載があります】

【参考1】BCP作成に係る参考資料

BCP未作成の場合、以下のサイトを参考にされたい。

[介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援に関する研修資料・動画 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

【参考2】クラスター発生施設等に対する支援（県（長寿社会課）事業）

県では、以下のような支援を行っているので参考にされたい。

① 緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業費補助金

補助対象施設等	新型コロナウイルス感染症の感染者が発生又は濃厚接触者に対応した介護サービス事業所・施設等
補助対象経費	職員の人員不足に伴う介護人材の確保、衛生用品の購入費用、施設内療養に要する費用 等

※上記は例示になりますので、詳細はHPで御確認願います。

県HP：<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/fukushi/kaigo/1044373.html>

② 新型コロナウイルス感染症発生時介護施設、障害者支援施設等支援事業費補助金

補助対象施設等	新型コロナウイルス感染症が発生した介護施設等に応援職員の派遣（直接派遣）を行った施設等
補助対象経費	派遣調整等に伴うに派遣元施設職員の割増賃金・手当、かかり増しとなる消耗品費、通信運搬費、使用料及び旅費、応援職員のPCR検査費用 等

※上記は例示になりますので、詳細はHPで御確認願います。

県HP：<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/fukushi/kaigo/1057954.html>

③ 感染症発生施設への抗原検査キットの配布

濃厚接触者となった職員の早期職場復帰を支援するため、抗原検査キットを県で備蓄し、必要に応じてクラスター発生施設等に配布。（※8月下旬から実施見込み）

④ 社会福祉施設等応援職員派遣調整事業（岩手県社会福祉協議会に委託）

対象施設等	特別養護老人ホーム（地域密着を含む）、介護老人保健施設、認知症グループホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、特定施設入居者生活介護（地域密着を含む）
事業内容	新型コロナウイルス感染者の発生した施設等に対し、同一法人内の別の施設等の職員が応援に入り、同施設の職員が不足する場合は、この同一法人内別施設等へ応援職員を派遣する（玉突き派遣）。

【担当】介護福祉担当 小原
電話：019-629-5441
Mail:AD0005@pref.iwate.jp

クラスター発生時の応援体制の確保状況等に係る調査結果（暫定版）について

(R4. 8. 10 岩手県保健福祉部長寿社会課作成)

1 調査の趣旨

クラスターの発生により職員の不足が生じた施設等を支援する仕組みの構築に向け、応援職員派遣に係るニーズや意向、派遣に伴う課題等を把握することを目的とする。

2 調査の概要

- ・調査時期：令和4年6月中旬から下旬にかけて実施
- ・調査対象：県内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅（814 か所）
- ・調査方法：市町村（保険者）を通じて照会及び回答の取りまとめを行ったもの

3 調査結果の概要

- ・調査対象のうち、回答があったのは519 か所（回答率63.8%）。
- ・主な結果は以下のとおり。調査結果の詳細は別紙1及び2を参照のこと。
- ・応援職員の派遣調整を「希望する」又は「条件が合えば希望する」と回答があったのは339 か所（65.3%）と多数。
- ・一方で、応援職員の派遣に「協力できる」と回答があったのは、玉突き派遣38 か所（7.3%）、直接派遣31 か所（6.0%）と1割に満たない状況。「条件によっては協力できる」と合わせても、玉突き派遣173 か所（33.3%）、直接派遣154 か所（29.7%）に留まる。
- ・応援職員の派遣に「協力できない理由」として最も多かったのは、「職員を派遣する人的余裕がない」（玉突き派遣261 か所（50.3%）、直接派遣250 か所（48.2%））。
- ・派遣を後押しするために必要なものとして最も多かったのは、「自施設の職員不足の解消」（玉突き派遣296 か所（57.0%）、直接派遣276 か所（53.2%））。
- ・なお、業務継続計画（BCP）を「作成済み」と回答があったのは130 か所（25.0%）。

玉突き派遣：感染者が発生した施設等（A）に対し、同一法人等の別施設（B）から応援職員を派遣したことにより、Bにおいて職員の不足が生じた場合、他法人等からBに対し応援職員を派遣するもの。
直接派遣：Aに対し、他法人等から直接応援職員を派遣するもの。

4 主な課題

- ・応援職員の派遣調整を希望する施設等が6割を超える一方で、応援職員の派遣に協力が得られる可能性のある施設は条件付きも含めて3割程度に留まっており、**需要と供給に大きな乖離が生じている。**
⇒ 応援職員の派遣に協力していただける施設を増やす必要がある。
- ・BCPを作成済みの施設が1/4程度に留まっており、**感染症発生時の業務内容の調整や、他施設からの応援職員を受け入れるための業務体制等の検討が十分に行われていない可能性**がある。
⇒ BCP未作成の施設において、感染症発生時の対応等について検討を行い、早期にBCPの作成を進める必要がある。

（次ページあります）

5 今後の対応（案）

- ・今回の調査において、多くの施設から「職員を派遣する人的余裕がない」との回答をいただき、厳しい現状にあることは承知しているが、応援職員の派遣は“相互応援”“相互協力”をベースに成り立つものであることから、一つでも多くの施設に協力いただけるよう、市町村や関係団体とも連携し、働きかけを行っていく。
- ・また、応援職員の派遣調整を行う前提として、派遣を要請する施設等において、可能な限り業務内容の調整等を行った上で、なお職員不足が見込まれる場合を想定していることから、派遣を希望する施設等において、以下の2点について早期に検討・準備を進めるよう、要請を行う。

①感染症発生時の提供サービスの検討及び業務内容の調整

業務を重要度に応じて分類し、感染者・濃厚接触者の人数、出勤可能な職員数の動向等を踏まえ、提供可能なサービス、ケアの優先順位を検討し、業務の絞り込みや業務手順の変更を行うこと。

下表も参考に、優先業務を明確化し、職員の出勤状況を踏まえ事業の継続を行うこと。

(参考：介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン（厚生労働省老健局作成）)

(参考：優先業務の考え方の例)

職員数	出勤率 30%	出勤率 50%	出勤率 70%	出勤率 90%
優先業務の基準	生命を守るため必要最低限	食事、排泄中心、その他は減少・休止	ほぼ通常、一部減少・休止	ほぼ通常
食事の回数	減少	減少	朝・昼・夕	ほぼ通常
食事介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
排泄介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
入浴介助	清拭	一部清拭	一部清拭	ほぼ通常
機能訓練等	休止	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
医療的ケア	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	ほぼ通常
洗濯	使い捨て対応	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
シーツ交換	汚れた場合	順次、部分的に交換	順次、部分的に交換	ほぼ通常

(注) 濃厚接触者に対しては、感染防止に留意した上でケア等を実施。

②応援職員を円滑に受け入れるための業務体制

応援職員が円滑に業務に従事できるよう、応援職員に「してほしい業務」や「説明すべきこと」を決めておくこと。

(※応援職員は「日勤対応」を基本として検討すること)

クラスター発生時の応援体制の確保状況に係る調査結果

別紙1

【全県集計 回答施設等数 519】

調査実施年月 令和4年6月

1-①自施設で職員が不足する場合、県による応援職員の派遣調整を希望しますか	希望する	条件が合えば希望する(※)	希望しない	わからない	その他(自由記載)
	243	96	123	37	18
1-②希望しないと答えた場合、その理由は何ですか	法人内の応援でカバーできる	他の法人に入ってほしくない	独自に他法人と協定を締結している	応援職員の担う役割が定まっていない	その他(自由記載)
	94	2	0	17	18
1-③感染症の発生を想定した業務継続計画(BCP)は作成していますか	作成済み	作成に向けて検討・協議中	今年度中に検討開始予定	未定	その他(自由記載)
	130	257	50	55	17
【玉突き派遣】 2-①応援職員の派遣に協力できますか	協力できる	条件によっては協力できる(※)	協力できない	わからない	その他(自由記載)
	38	135	271	61	16
【玉突き派遣】 2-②協力できないと答えた場合、その理由は何ですか	職員が感染するリスクがある	職員を派遣する人的余裕がない	派遣を行う動機付けになるものがない	シフト変更等の調整が負担である	その他(自由記載)
	16	261	0	3	9
【玉突き派遣】 2-③派遣を後押しするには何が必要ですか	金銭的な支援	派遣職員に対する研修や検査	自施設の職員不足の解消	その他(自由記載)	
	44	91	296	38	
【玉突き派遣】 2-④派遣する場合は何日間が適当と考えますか	3日間	5日間	7日間	10日間	その他(自由記載)
	150	81	67	25	63
【玉突き派遣】 2-⑤協力できる場合、派遣可能な職員は何人いますか	1人	2人	3人	その他(自由記載)	
	134	38	3	118	
【直接派遣】 3-①応援職員の派遣に協力できますか	協力できる	条件によっては協力できる(※)	協力できない	わからない	その他(自由記載)
	31	123	280	76	3
【直接派遣】 3-②協力できないと答えた場合その理由は何ですか	職員が感染するリスクがある	職員を派遣する人的余裕がない	派遣を行う動機付けになるものがない	シフト変更等の調整が負担である	その他(自由記載)
	29	250	1	3	17
【直接派遣】 3-③派遣を後押しするには何が必要ですか	金銭的な支援	派遣職員に対する研修や検査	自施設の職員不足の解消	その他(自由記載)	
	42	87	276	48	
【直接派遣】 3-④派遣する場合は何日間が適当と考えますか	3日間	5日間	7日間	10日間	その他(自由記載)
	143	76	62	24	65
【直接派遣】 3-⑤協力できる場合派遣可能な職員は何人いますか	1人	2人	3人	その他(自由記載)	
	128	29	2	116	

クラスター発生時の応援体制の確保状況に係る調査結果（市町村別）

別紙 2

問 1-① 自施設で職員が不足する場合、県による応援職員の派遣調整を希望しますか。					
	希望する	条件が合えば希望する	希望しない	わからない	その他
盛岡市	39	27	23	11	3
宮古市	8	6	8	1	1
大船渡市	7	2			5
花巻市	12	4	5	4	
北上市	16	1	17	7	
遠野市	2	3	3		
一関市	6	3	2		
陸前高田市	1	3	3		
釜石市	14		4		
八幡平市	11		8	1	1
奥州市	41	16	13	7	5
滝沢市	17	7	5	1	1
雫石町	2	3	3		1
葛巻町	2	2	1		
紫波町	6	3			
矢巾町	8	1	6		
西和賀町	3				
金ヶ崎町	5		8		
平泉町	5		1		
住田町	1		1		
大槌町	1				
山田町	3	1	1		
岩泉町	5	1			
田野畑村	1		1		1
盛岡北部	5			1	
久慈広域	14	7	1	1	
二戸広域	8	6	9	3	
計	243	96	123	37	18

問 1-③ 感染症の発生を想定した業務継続計画（BCP）を作成していますか。

	作成済	作成に向けて検討・協議中	今年度中に検討開始予定	未定	その他
盛岡市	26	50	18	7	2
宮古市	5	6	1	6	4
大船渡市		14			
花巻市	6	9	2	5	3
北上市	2	31	2	5	1
遠野市	2	4	1		1
一関市	7	3		1	
陸前高田市		6			1
釜石市	6	6	2	2	2
八幡平市	8	4	6	2	1
奥州市	17	52	8	4	
滝沢市	8	13	1	6	1
雫石町	6	1	1		1
葛巻町	2	3			
紫波町		5	1	3	
矢巾町	4	6	2	2	
西和賀町	2	1			
金ヶ崎町		13			
平泉町	2	1		2	
住田町	1	1			
大槌町		1			
山田町	1	3		1	
岩泉町	1	4	1		
田野畑村	1	2			
盛岡北部	4	2			
久慈広域	8	10	1	3	
二戸広域	11	6	3	6	
計	130	257	50	55	17

問2-① 応援職員の派遣（玉突き派遣）に協力できますか。					
	協力できる	条件によっては できる	協力できない	わからない	その他
盛岡市	8	30	40	22	3
宮古市	1	7	14	1	6
大船渡市		12	2		2
花巻市	2	6	14	3	
北上市		12	24	4	
遠野市	1	2	4	1	
一関市	1	3	6	1	
陸前高田市	1	3	3		
釜石市	1	5	7	3	2
八幡平市	4	3	14		
奥州市	3	18	50	11	
滝沢市	2	7	18	3	
雫石町		3	5		1
葛巻町	1	2	2		
紫波町	1	2	4	2	
矢巾町		1	10	4	
西和賀町		1	2		
金ヶ崎町	2	1	10		
平泉町	3		2		1
住田町			2		
大槌町			1		
山田町		2	2	1	
岩泉町	1	1	4		
田野畑村			3		
盛岡北部	1	2	3		
久慈広域	3	6	9	5	
二戸広域	2	6	16		1
計	38	135	271	61	16

問2-② 協力できないと答えた場合、その理由は何ですか。					
	職員が感染する リスクがある	職員を派遣する 人的余裕がない	派遣を行う動機 付けになるもの がない	シフト変更等の 調整が負担であ る	その他
盛岡市	4	38	0	0	3
宮古市		14			
大船渡市		2			
花巻市		14			
北上市		23			1
遠野市		3			1
一関市	1	6			
陸前高田市		3			
釜石市	1	8			
八幡平市		14			
奥州市	7	44		1	2
滝沢市	1	15		2	1
雫石町		5			
葛巻町		2			
紫波町		6			
矢巾町	1	8			
西和賀町		2			
金ヶ崎町		10			
平泉町		2			
住田町		2			
大槌町		1			
山田町		2			
岩泉町		5			
田野畑村	1	2			
盛岡北部		3			
久慈広域		9			1
二戸広域		18			
計	16	261	0	3	9

問3-① 応援職員の派遣（直接派遣）に協力できますか。

	協力できる	条件によっては できる	協力できない	わからない	その他
盛岡市	5	30	44	24	0
宮古市	1	6	16	1	
大船渡市		7	2	5	
花巻市	2	5	15	3	
北上市		11	25	5	
遠野市		3	4	1	
一関市		3	7	1	
陸前高田市	2	2	3		
釜石市		6	9	3	
八幡平市	4	3	14		
奥州市	3	14	49	14	1
滝沢市		7	19	4	
雫石町		3	5		1
葛巻町	1	2	2		
紫波町	1	2	4	2	
矢巾町		1	10	4	
西和賀町		1	2		
金ヶ崎町	2	1	10		
平泉町	4		2		
住田町			2		
大槌町			1		
山田町		2	2	1	
岩泉町		2	3		
田野畑村			3		
盛岡北部	1	1	4		
久慈広域	3	4	8	8	
二戸広域	2	7	15		1
計	31	123	280	76	3

問3-② 協力できないと答えた場合その理由は何ですか。					
	職員が感染する リスクがある	職員を派遣する 人的余裕がない	派遣を行う動機 付けになるもの がない	シフト変更等の 調整が負担であ る	その他
盛岡市	8	35	0	1	9
宮古市	1	15			
大船渡市		2			
花巻市	1	14			
北上市		24			1
遠野市		4			
一関市	1	6			1
陸前高田市		2			1
釜石市		9			
八幡平市		14			
奥州市	7	44			2
滝沢市	5	13		2	3
雫石町		5			
葛巻町		2			
紫波町		6			
矢巾町	2	6			
西和賀町		2			
金ヶ崎町		11			
平泉町		2			
住田町		2			
大槌町		1			
山田町		2			
岩泉町		4			
田野畑村	2	1			
盛岡北部		3			
久慈広域		9			
二戸広域	2	12	1		
計	29	250	1	3	17